

全国初

光センサー選果と連動した

マッピングシステム

光センサー選果とマッピング

先進のコンビネーションで、産地振興に挑んでいます。





情報を、行動や戦略に結ぶ 産地振興のヒントを映し出すマッピング

JAみっかびでは、より高品質なミカンの効率的な生産を目指して、平成13年に全国最大の光センサー選果システムを導入しました。このとき、同時に立ち上げたのが光センサー選果と連動したマッピングシステムです。



光センサー選果のデータを、 生産指導へと効果的に結ぶために。

園地別・生産者別の品質評価などを明確に情報化できる光センサー選果。このデータを生産者へ効果的にフィードバックするために着目したのが、マッピングシステムです。

園地の様々なデータをパソコン上の地図に分かりやすく表現し、説得力のある生産指導を可能にする。導入の第一の目的は、そこにありました。

現場の情報を共有し、 受け継ぐために。

もうひとつの目的は、技術員同士の情報の共有です。たとえば、長年生産指導に携わり、栽培技術や園地の実情、地域事情などに精通した技術員が退職や人事異動でいなくなった場合、後任者への情報伝達にはどうしても限界があります。

せっかくの貴重な情報・ノウハウをしっかりと引き継ぐためにも、情報を分かりやすく共有できる仕組みをつくる必要があります。マッピングシステムの導入を図りました。

[システム活用による取り組み・実践目標]

1

生産指導の強化

光センサー選果から得られる園地別・生産者別のデータを地図上で分かりやすく、リアルに表現することで、栽培技術指導や作付け品種・改植指導などをきめ細かく行います。これらにより、一層高品質なみかん生産を推進し、農家の所得を増大。産地振興の大きな一翼を担っていきます。

2

園地流動化の推進

園地の流動化システムもマッピングを使って構築。地図上に園地データや生産者の意向などを色分け図示することで、園地流動化に向けた取り組みを戦略的に行い、優良園地の荒廃防止・基盤整備の推進を図ります。また、担い手への園地集積を効果的に推進することも可能です。

3

作業受委託の推進

現在、町内で稼働しているFサポート（農作業受託組織）を支援したり、新たな受託組織の設立に向けて、マッピングで一元管理された情報を有効に役立てていきます。そして、農家の小規模化・高齢化・兼業化に対応し、高品質なミカンを生産する営農を継続可能なものにしていきます。



個人耕作園地



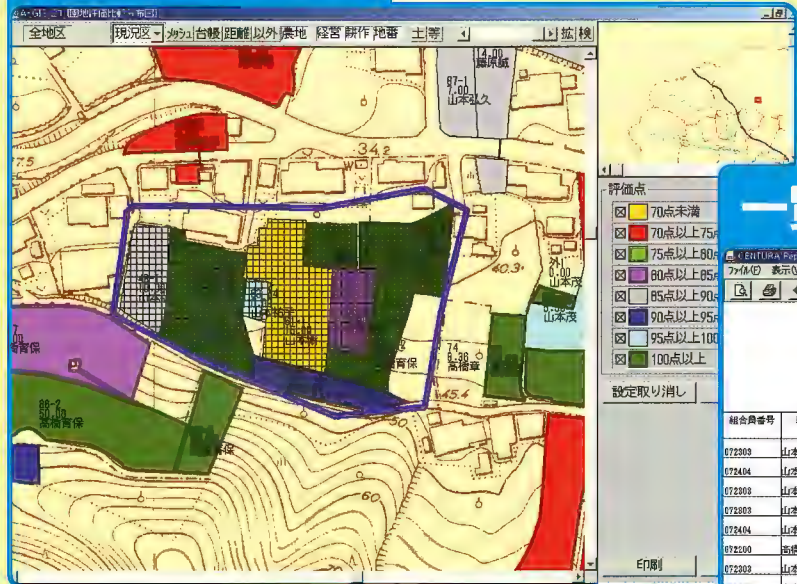
生産者が栽培している園地を地図上に一括表示します。

園地情報

園地番号	01	標
園地名	ブル	傾斜
地番	都筑黒坂3517	方
地目	畑	日照状
面積	15	
耕作者	278906 和田 正美	
所有者	278906 和田 正美	
品種	青島	マルチ <input type="radio"/>
系統	青島	フィガロン <input type="radio"/>
面積	15	肥料類 <input type="radio"/>
植栽年次	02	収穫時期 <input type="radio"/>
植栽時の樹齢	3	
樹齢	15	
植栽本数	100	
植栽距離	3.5 × 3.5	
反収	1941	

各園地の管理状況や品種・樹齢な

条件指定分布図



一覧表

組合員番号	耕作者氏名	園地番号	園地名
072909	山本 裕子	04	正前
072404	山本 行次	01	ヤシメ
072909	山本 裕子	02	神前
072803	山本 茂	06	黒敷
072404	山本 行次	02	中畑
072909	西嶋 寛隆	08	長畑
072909	山本 裕子	04	神前
072905	山本 順行	05	西宮井
072701	山本 弘久	02	元園敷
072909	山本 裕子	05	畑二組
072109	山本 衛	14	畑上
	小計		11園
	合計		11園

絞り込んだ園地地図と一覧表をもとに原因・要因を分析します。

<input checked="" type="checkbox"/> 樹齢	<input type="checkbox"/> SS道設置
<input type="checkbox"/> 土壌	<input type="checkbox"/> 給水栓設置
<input checked="" type="checkbox"/> 圃地	<input type="checkbox"/> 排水路設置
<input type="checkbox"/> 傾度	<input type="checkbox"/> モノラウ
<input type="checkbox"/> 評価項目	<input type="checkbox"/> ノイラ
<input type="checkbox"/> 植栽距離別	<input type="checkbox"/> SS所有農家
<input checked="" type="checkbox"/> マルチ被覆	<input type="checkbox"/> 標高
<input type="checkbox"/> フィガロン散布	<input type="checkbox"/> 反収

り込むことができます。





評価表

画面表示: 評価表

作物: 18 (りんご) 品種: 17 (富士) 園地: 2 (早野) 組合番号: 118702 氏名: 田中 高野

収穫数量(t): 9,049.70 出荷数量(t): 22.00 出荷価格(円): 0.90 出荷総額(円): 3,020.9 評価点: 117.49 平地換算(t): 142.39

品質・規格別出荷比率 (%)

規格	数量(t)	比率(%)	規格	数量(t)	比率(%)
特選	0.1	2.6	特選	21.2	11
優	0.5	4.8	優	5.3	0
良	0.2	1.9	良	0.2	0
規格外	0	0	規格外	0	0
合計	0.8	9	合計	24.8	0.1
選果場平均	4.4	18.6	選果場平均	10.9	0
目標値	0	0	目標値	0	0

品質別価格推移

浮皮

出荷比率

月別	10月	11月
数量(t)	330.2	2027.7

ゴール別

ゴール別	1ゴール	5ゴール
数量(t)	999.2	2027.7

平均点単位 支部: 条件: 117 / 915 平均単価単位 支部: 条件: 69 / 316

各園地から出荷された果実の成績を見ることができます。

どの情報を見ることができます。

画面表示: 設定

高さ: 150 混植の有無: 無 改植希望: 無 給水栓状況: 有

パイラス歴: 無 接道状況: 有 排水路状況: 有

作業委託意向: 無 SS道状況: 有 モノラック: 有

防除方法

防除方法	追加	削除
シシトフ	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>

備考

H14年土壌分析より土壌改良剤の使用を指示。
開伐注意園地。!

評価表

前 次 地図 追加 削除 終了

個別面談



生産者に対し、園地別に細かな指導をすることが可能になります。

画面表示: 園地一覧表

ページ: 1 出力日: H15.1.6

地番	面積(a)	系統	植栽本数	植栽距離	評価点	収量	換算	総量
早野園地#1	4.00	開成	25	3.0m×3.0m	126.59	1,672	11.70	0.94
早野園地#2	10.48	開成	80	3.0m×3.0m	120.42	3,890	11.70	0.90
早野園地#3	7.00	開成	68	3.0m×3.0m	114.00	1,808	11.50	0.88
早野園地#4	4.04	開成	40	3.0m×3.0m	107.89	5,181	11.20	0.88
早野園地#5	7.35	開成	55	3.0m×3.0m	104.82	5,264	11.10	0.88
早野園地#6	8.00	青島	79	4.0m×4.5m	109.47	2,920	11.60	0.81
早野園地#7	2.00	青島	24	3.0m×3.0m	99.84	3,215	11.70	0.81
早野園地#8	7.00	青島	78	2.5m×3.0m	91.02	4,071	11.50	0.87
早野園地#9	10.50	開成	90	4.0m×4.0m	89.89	3,070	10.80	0.81
早野園地#10	6.00	青島	68	3.5m×4.0m	81.80	1,464	11.60	0.82
早野園地#11	15.00	青島	180	2.0m×3.0m	88.04	2,814	11.70	0.88
早野園地#12	79.37				108.17	2,980	11.50	0.81
早野園地#13	79.37				108.17	2,980	11.50	0.81

マッピングシステム導入フローチャート

JAの課題

現状

- ・園地ごとの生産情報の不足
- ・園地流動化が進んでいない
- ・生産者の高齢化、後継者不足

生産量3万トンの確保（園地・人・技術）

産地の維持・発展という目標を実現させるための仕組みが必要

共通認識

情報共有

役割分担

マッピングシステムを活用した産地振興

新選果機導入に伴うデータ

- ・新選果機による選果データ
- ・園地や生産者に関するデータ

マッピングシステムの構築

データを整理・分析し、有効に活用するシステムの構築による産地振興への取り組み。
(生産指導・園地流動化・作業受委託など)

園地に関するデータ

- ・地図情報
- ・園地情報

生産指導の強化

生産者情報の共有化
園地別・生産者別指導の実現

- ①高品質果実安定生産の実現
- ②所得の増大
- ③産地形成、販売戦略の構築

園地流動化の推進

園地流動化システムの活用
生産者の意向を把握

- ①優良園地の荒廃予防
- ②園地の集積
- ③大規模農家の育成
- ④機械化の推進

農作業受委託の推進

Fサポートの育成
他地区への受託組織拡大

- ①営農の継続可能
- ②品質低下防止
- ③規模拡大可能

三ヶ日町農業のさらなる飛躍!!



静岡県引佐郡三ヶ日町三ヶ日885番地

TEL.053-525-1011 (代)

<http://www.ja-shizuoka.or.jp/mikkabi/index2.html>